

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成27年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立八代射撃場	所管課	教育委員会 スポーツ健康課
所在地	笛吹市八代町竹居5737	設置年月日 (改築年月日等)	昭和59年4月1日
指定管理者	公益財団法人山梨県体育協会		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立射撃場設置及び管理条例		
設置目的	ライフル射撃の普及振興を図り、もって県民の心身の健全な発達に寄与するため		
主な施設内容 (定員等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○敷地面積 約54,700㎡</li> <li>○施設の内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理事務所(鉄筋コンクリート2階建 253.67㎡)</li> <li>・スモールボアライフル射場 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 射場(地上1階・地下1階 807.96㎡ 26射座)</li> <li>2) 監的壕(地下1階 146.88㎡)</li> </ul> </li> <li>・エアライフル射場 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) エアライフル射場(1階 849.76㎡ 37射座)</li> <li>2) ビームライフル射場(1階 98.8㎡ 6射座)</li> </ul> </li> <li>・その他(駐車場 1,589.66㎡、便所2棟)</li> </ul> </li> </ul>		
主な業務内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用の承認に関する業務</li> <li>2. 施設及び設備器具の維持保全に関する業務</li> </ol>		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	
---------------------	--

## 3 利用状況

利用人数／営業日数

単位：人、%

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (目標値)
利用者数	エアライフル	1,177	1,292	819	
	小口径ライフル	709	619	518	
	ビームライフル	649	588	745	
	利用者数合計	2,535	2,499	2,082	
	目標値	2,600	2,352	2,352	2,352
	目標値設定の考え方及びその理由	H25:近県射撃場が再開したことを勘案し、前年実績から約2割減 H26:利用者の減少傾向を勘案し、収支計画における数値を目標値として設定 H27～:H26と同数値を設定			
対25年度比	-	98.6%	82.1%	92.8%	
利用率	7人/日	7人/日	6人/日	7人/日	

## 4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成26年度	平成27年度 (計画値)	平成27年度 (実績値)	平成28年度 (計画値)
収入	施設利用料	1,186,159	1,136,000	960,667	988,000
	指定管理者委託料	5,198,000	5,491,000	5,491,000	5,522,000
	その他	147,714	15,000	100,481	37,000
	収入合計(A)	6,531,873	6,642,000	6,552,148	6,547,000
支出	人件費	4,244,854	4,365,000	4,124,316	4,332,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	2,157,190	2,277,000	2,177,171	2,215,000
	うち外部委託費(B)	250,560	251,000	250,560	251,000
支出合計(C)	6,402,044	6,642,000	6,301,487	6,547,000	
収支差額(A-C)	129,829	0	250,661	0	
外部委託比率(B÷C)	3.9%	3.8%	4.0%	3.8%	
利用者一人当たりの経費	2,080.0	2,334.6	2,637.4	2,347.8	

## 5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成27年4月～平成28年3月 実施方法:施設利用者へのアンケート 回答数:59人
-------	--

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
料金	73.0%	25.0%	2.0%	0.0%
スタッフの対応	97.0%	3.0%	0.0%	0.0%
施設・設備の整備状態	32.0%	34.0%	17.0%	17.0%
施設全般の満足度	36.0%	37.0%	17.0%	10.0%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋根がないため風雨の日は、射撃に支障があったので屋根をつけてほしい。</li> <li>・建物等々老朽化しており施設の改修、改善が至急必要である。</li> <li>・スモールボア射場の的を電子標的にしてほしい。</li> <li>・ビームライフル射場の水漏れを直してほしい。</li> <li>・トイレの洋式を増やしてほしい。</li> <li>・トイレが汚い。射場近くにあるトイレを整備してほしい。</li> <li>・射場内の部屋に冷暖房を設置してほしい。</li> </ul>
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の整備改善については、県教育委員会に対して予算要望を行っていく。</li> <li>・職員の対応で改善できる事項については改善を図った。</li> </ul>

## 6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	業務計画書どおり、適正に管理業務を実施した。 利用者が安全かつ快適に利用できるよう、場内の整理・清掃や定期的な草刈りを行うなど、良好な衛生環境・景観の維持・確保に努めた。	施設の維持管理については、事業報告書並びに現地確認の結果、適正に執行されている。 衛生環境の確保などについては、利用者の意見を参考に、引き続き創意工夫を図ること。
運営業務	業務計画書どおり、適正に管理業務を実施した。 個人利用回数券の発行や営業日・営業時間の拡充を継続し、利用促進に努めるとともに、防護策等の安全施設の日常点検を行い、事故防止に努めた。	施設運営については、事業報告書並びに現地確認の結果、適正に執行されている。 引き続き、利用者の安全確保を図るなど、事故防止に努め、適正に業務を行うこと。
利用状況	引き続き、学校の長期休暇期間(7月～9月及び3月)を無休営業にするとともに、関東近県の協会や大学の射撃部へのパンフレット等の送付や個人利用回数券の発行など利用促進に努めたものの、神奈川県伊勢原射撃場の再開等による県外利用者の減少などにより、前年度の利用実績を下回った。	利用者数は減少傾向にあるが、引き続き、合宿利用者に向けた広報活動など、利用促進に努めること。
収支状況	場内設置の消火器、AED関係の取替が必要となったため計画以上に経費を要したが、予算の範囲内で執行することができた。また、その他の経費については利用料金収入が伸びないため、コスト意識を持ち経費の節減に努めた。	経費の節減を図りながら、必要な修繕を実施しており、適正な管理業務が実施されている。 引き続き、経費削減とともに利用促進に努めること。
自主事業	業務計画書に基づき、標的の販売や利用者感謝祭の開催など、利用者サービス・利用促進に努めた。	自主事業については、業務計画書どおりに業務が行われている。 引き続き、利用者サービスの向上に努め、利用促進を図ること。
利用者満足度	標的の古さやトイレの水洗化が遅れていることなどにより、満足度が昨年より14.5%低下しているものの、職員の対応については、高い評価を得ることができた。古い施設・設備ではあるが、環境維持に努めた成果と考える。	引き続き、利用者ニーズを的確に把握し、サービスの向上に努めること。
運営目標の達成状況	利用者数目標値2,352人に対し、2,082人の利用があった。目標達成率は88.5%であり、目標人数を270人下回った。 射撃部員の減少や、近県射撃場再開の影響が非常に大きい。また、電子標的でないため、重量のある標的を設置する手間なども利用率の低下に影響していると考えられる。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	業務計画書に基づき、適正に業務が執行されている。 今後も、利用者ニーズを把握しながら、良好な施設環境の維持をはじめとした管理運営業務に努め、積極的な広報活動など利用促進に取り組むこと。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	今後も協定及び業務計画書等に基づき、施設的环境整備など適切な管理運営に努めていく。 引き続き経費削減に努めるとともに、利用案内の送付など積極的な広報を行っていく。 また、利用者ニーズを把握して管理運営業務に反映させると共に、利用者数の減少が少しでも抑えられるよう図っていく。	

7 管理体制(組織図)

平成27年4月1日現在



所長(兼務)	1人
嘱託員	2人
合計	3人